

※受理年月日	年 月 日
※受 理 番 号	
※備 考	

大規模小売店舗届出書

年 月 日

茨城県知事 殿

氏名又は名称（法人にあってはその代表者の氏名）
住所

大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 大規模小売店舗の名称及び所在地
名 称
所在地
- 2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名
別記 1 のとおり
- 3 大規模小売店舗の新設をする日
年 月 日
- 4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計
m²
- 5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項
 - (1)駐車場の位置及び収容台数
位 置 別紙配置図（図面番号）のとおり
収容台数 別記 2 のとおり
 - (2)駐輪場の位置及び収容台数
位 置 別紙配置図（図面番号）のとおり
収容台数 台
 - (3)荷さばき施設の位置及び面積
位 置 別紙配置図（図面番号）のとおり
面 積 m²
 - (4)廃棄物等の保管施設の位置及び容量
位 置 別紙配置図（図面番号）のとおり
容 量 m³

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

別記1のとおり

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

別記2のとおり

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

出入口数

位 置 別紙位置図（図面番号）のとおり

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

時から 時まで

別記1 小売業者一覧

氏名又は名称	代表者氏名	住 所	主要販売品	店舗面積	開店時刻	閉店時刻
				m ²		
小売業者合計				m ²		
共 用 面 積				m ²		
店舗面積合計				m ²		

(注) 小売業者が未定の場合は、氏名又は名称欄に「未定」と記入して下さい。

別記2 駐車場一覧

名 称	位 置	収容台数	利用可能時間帯		自己所有・借上げ・ 公共等の別
			利用開始時刻	利用終了時刻	
	(配置図中の番号)	台			
合 計		台			

(注) 複数の駐車場を確保する場合は、各駐車場ごとに記入して下さい。

位置欄には、配置図中の整理番号を記入して下さい。

自己所有・借上げ・公共等の別については、届出事項ではありませんが、本表中に併せて記入して下さい。

公共駐車場を利用する場合には、必要駐車台数が確実に確保できる根拠を示して下さい。

(備考) 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4として下さい。

2 ※印の項は記載しないで下さい。

法定添付書類（省令第4条）

- (1) 法人にあってはその登記事項証明書
登記事項証明書 別紙（番号）のとおり
- (2) 主として販売する物品の種類
届出書別記1のとおり
- (3) 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面
建物配置図 別紙配置図（図面番号）のとおり
各階平面図 別紙平面図（図面番号）のとおり
（注）各階平面図には、小売業者毎に店舗部分を明示するとともに、店舗以外の主な施設についても名称を付して下さい。

- (4) 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客自動車の台数等の予測の結果及び算出根拠
- ① 小売店舗に係る必要駐車台数の算出根拠

原単位区分	係数等	算出根拠
日来店客数（人） $A(a \times b)$		※特別の事情により指針中の係数等を用いない場合は、算出根拠欄にその根拠を明確に記入して下さい（別紙可）。
店舗面積当たり日来店客数原単位（人／千 m^2 ） a		
店舗面積（千 m^2 ） b		
ピーク率（％） B		
自動車分担率（％） C		
平均乗車人員（人／台） D		
平均駐車時間係数 E		
必要駐車台数 $A \times B \times C \div D \times E$	台	

（注）端数処理については、計算結果を四捨五入して下さい。

- ② 小売店舗以外の施設に係る駐車台数

施設名称	施設面積	駐車台数	摘 要
	m^2	台	
合 計	m^2	台	

（注）小売店舗に係る駐車場と共用する場合に記入して下さい。
摘要欄には、利用者数（日来店客数）、稼働率等を記入して下さい。

(5) 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

※以下の事項は、駐車場の出入口の数及び位置を設定するために用いられると想定されるものであり、必要に応じて記入するか、又は別途必要な資料を添付して下さい。

① 方面別自動車台数予測値等

来客方面	日来台数予測値	ピーク 1 時間 来台数予測値	入庫入口	摘 要
	台／日	台／時		※予測値の算出根拠 等を記入して下さい。
合 計	台／日	台／時		

- ・施設周辺見取図 別紙見取図（図面番号）のとおり
（注）施設周辺見取図上に予測値を記入して下さい。

② 出入口別入庫処理能力

出入口箇所		入庫処理能力	ピーク 1 時間 来台数予測値	左折入庫 の 有 無	右折入庫 の 有 無	出庫車等との動線分離の有無		
						出庫車	自転車	歩行者
a		台／時	台／時					
b								
c								

③ 入口駐車待ちスペース

入口箇所		駐車待ちスペース (m)	必要な駐車待ちスペース	
			長さ (m)	算出根拠
a				
b				
c				

④ 交通量調査及び立地後の予測結果（必要に応じて測定した場合に記入して下さい。）

調査地点	調査日時（時間帯）	調査結果	予測結果
	年 月 日（ ）時から 時	台／時	台／時

- ・施設周辺見取図 別紙見取図（図面番号）のとおり
（注）施設周辺見取図上に調査地点を記入して下さい。

⑤ その他必要な事項（①～④以外に必要と判断される事項を適宜記入して下さい。）

(6) 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

① 自動車の案内経路・案内表示

- ・施設周辺見取図 別紙見取図（図面番号）のとおり

（注）施設周辺見取図上に方面別の来客について設定する案内経路、主な案内表示の位置を記入して下さい。

療養施設、社会福祉施設等の静穏が要求される施設の位置を記入して下さい。

② 交通整理員の配置状況（配置する場合にのみ記入して下さい。）

配置位置	配置人員	配置曜日	配置時間帯
	人		時から 時まで

- ・施設周辺見取図 別紙見取図（図面番号）のとおり

（注）施設周辺見取図上に交通整理員の配置位置を記入して下さい。

(7) 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき時間帯	搬出入車両台数	積載重量
時から 時まで	台	t

（注）積載重量については、法定事項ではありませんが、記入をお願いします。

(8) 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

- ・配置図 別紙配置図（図面番号）のとおり

（注）配置図上に遮音壁の位置及び高さを記入して下さい。

(9) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

設備名	設置位置	稼働予定時間帯
		時から 時まで

- ・設備配置図 別紙配置図（図面番号）のとおり

（注）設備配置図上に位置を記入して下さい。

(10) 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

① 個別騒音予測

騒音発生源	騒音レベル	算出根拠	騒音発生源	騒音レベル	算出根拠

- ・発生源位置図 別紙位置図（図面番号）のとおり

（注）発生源位置図（設備配置図）上に記入して下さい。

算出根拠の欄には、カタログ値、実測値等の区分を記入して下さい。

② 予測地点別合算結果

予測地点	位 置	昼間・等価騒音レベル	夜間・等価騒音レベル
	(位置図中の番号)	d B	d B

・予測位置図 別紙位置図（図面番号）のとおり

・予測計算方法 別紙（番号）のとおり

（注）予測位置図（設備配置図）上に予測地点、区域区分及び用途地域区分を記入して下さい。

各予測地点ごとに等価騒音レベルの予測計算方法を明示して下さい。

(11) 夜間において、大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

騒音発生源	騒音レベルの最大値	騒音発生源	騒音レベルの最大値
	d B		d B

・予測位置図 別紙位置図（図面番号）のとおり

・予測計算方法 別紙（番号）のとおり

（注）予測位置図（設備配置図）上に予測地点、区域区分及び用途地域区分を記入して下さい。

騒音発生源ごとに騒音レベルの予測計算方法を明示して下さい。

(12) 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

廃棄物種類 原単位区分			紙製 廃棄物等①	金属製 廃棄物等②	ガラス製 廃棄物等③	小 計 ①+②+③
1 排日 出当 予た 測り 量 (t)A	面積6,000㎡ 以下の部分	排出量原単位 a				
		店舗面積 ※ ¹ b				
		小計 (a×b=c)				
	面積6,000㎡ 超の部分	排出量原単位 d				
		店舗面積 ※ ² e				
		小計 (d×e=f)				
計 (c + f)						
廃棄物等の平均保管日数 (日) B						
廃棄物等の見かけ比重 (t / m ³) C						
廃棄物等の必要保管容量 (m ³) A × B ÷ C						

廃棄物種類 原単位区分			プラスチック 製廃棄物等④	生ごみ等⑤	その他の可燃 性廃棄物等⑥	小 計 ④+⑤+⑥
1 排日 出当 予た 測り 量 (t) A	面積6,000㎡ 以下の部分	排出量原単位 a				
		店舗面積 ※ ¹ b				
		小計 (a×b=c)				
	面積6,000㎡ 超の部分	排出量原単位 d				
		店舗面積 ※ ² e				
		小計 (d×e=f)				
	計 (c + f)					
廃棄物等の平均保管日数 (日) B						
廃棄物等の見かけ比重 (t / ㎡) C						
廃棄物等の必要保管容量 (㎡) A × B ÷ C						

合 計 ①+②+③+④+⑤+⑥	
-----------------	--

(注) 端数処理については、計算結果を四捨五入して下さい。

指針の各種原単位を用いない場合は、根拠数値、算出方法等を別紙に記入して下さい。

⑥の算出に当たっては、b欄に総店舗面積を記入して下さい。

※1 + ※2 = 当該店舗の店舗面積合計

指針に基づく配慮事項

（法定添付書類ではありませんが、縦覧の対象となります。）

駐車需要の充足等交通に係る事項について

○駐車場の位置及び構造等

○駐輪場の確保等

○自動二輪車の駐車場の確保

○荷さばき施設の整備等

○経路の設定等

（来客自動車の経路設定）

（搬出入車両の経路設定）

（その他）

歩行者の通行の利便の確保等について

廃棄物減量化及びリサイクルについて

防災・防犯対策への協力について

○防災対策

○防犯対策

○青少年の非行防止対策

騒音の発生に係る事項について

○荷さばき作業における騒音対策

○附帯設備における騒音対策

○駐車場における騒音対策

○その他の騒音対策

廃棄物に係る事項について

○廃棄物等の保管方法

○調理臭等の発散防止

街並みづくり等について

光害の防止について

地域貢献活動の取り組み

※ 貴店舗において取り組まれる地域貢献活動について、具体的かつ簡潔に記載してください。
(法定添付書類ではありませんが、縦覧の対象となります。また、県のホームページに掲載します。)

地域貢献活動の事例

- 1 地域と連携した取り組みの推進
 - ・施設の設置者及びテナントの商工会議所・商工会等への加入
 - ・中心市街地活性化のための各種取組に対する大型店のノウハウを活用した協力
 - ・祭りなど各種の地域イベント等への参加、協力
- 2 地産地消の推進
 - ・県産品の積極的な販売、P R、販売促進への協力
 - ・施設の設置者及びテナントの県内事業者との取引推進
- 3 地域雇用確保への協力
 - ・従業員採用に当たっての地域及び県内からの優先的雇用と安定的雇用
 - ・障害者、高齢者等の雇用推進
- 4 環境対策の推進
 - ・店舗周辺の清掃活動の積極的な実施
 - ・来店者のポイ捨て防止の呼びかけ
 - ・資源ゴミの回収ボックスの設置等のリサイクル対策の推進
- 5 撤退時等における配慮
 - ・撤退時期等についての地域住民や地方公共団体等への早期の情報提供
 - ・後継店の確保や従業員の再就職先の斡旋
 - ・店舗閉鎖に伴う環境悪化を防止するための建物等の管理